

**令和8年度**

# **運営に関する計画**



**令和8年4月**

**大阪市立南大江小学校**

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校は、明治5年の学制施行とともに創立された歴史と伝統ある学校である。その教育的基盤を大切にしながらも、社会の急激な変化に対応し、これからの時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成することが求められている。

近年、学校に対する価値観の多様化や社会環境の変化を背景として、不登校児童数は増加傾向にあり、その改善率も十分とは言えない状況にある。すべての児童が安心して学び、自己の成長を実感できる学校づくりは喫緊の課題である。また、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を徹底し、児童一人一人の人権が尊重される環境を維持・向上させていく必要がある。

さらに、先行きが不透明で予測困難な時代（VUCAの時代）においては、既存の知識の習得にとどまらず、他者と協働しながら課題に向き合い、自ら納得解を見いだす力の育成が重要である。小学校段階においては、その基礎となる力を育むことが求められる。

そのため本校では、児童一人一人に配備された学習者用端末を文房具の一つとして日常的に活用し、情報を主体的に収集・整理・分析しながら考えを深める学習を推進する。また、資料や図表を読み解く力の育成に重点的に取り組み、言語能力や思考力・判断力・表現力の向上を図る。

あわせて、児童が「できた」「わかった」「役に立った」と実感できる教育活動を充実させ、自己肯定感を高めるとともに、互いのよさを認め合う温かな人間関係の構築を図る。基本的な生活習慣の確立にも継続的に取り組み、心身ともに健やかな成長を支える。

加えて、これまでの調査から、本校児童の体力・運動能力が大阪市平均および全国平均に達していないという課題が明らかとなっている。この課題の解決に向け、発達段階に応じた運動機会の充実や活動内容の工夫を図るとともに、児童が体を動かすことに肯定的に取り組み、日常の中で思わず体を動かしたくなるような環境づくりを推進する。

また、家庭や地域、関係機関との連携を一層強化し、多面的な支援体制を整えることで、不登校やその傾向が見られる児童へのきめ細やかな対応を推進する。

さらに、教職員一人一人が働き方改革の視点を持ち、業務の効率化と協働体制の構築を進めることで、教育の質の向上と持続可能な学校運営の実現を目指す。

以上の取組を通して、「すべての児童が安心して学び、自らの可能性を伸ばすことのできる学校」の実現を目指していく。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%にする。
- ・小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉の違いを大切に、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、全学年で85%以上にする。
- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和11年度末の校内児童アンケートにおける「授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使いましたか。」の項目について、「週3回以上」と答える児童の割合を80%以上にする。
- ・令和11年度時間外勤務時間状況における「貴校の平均時間(累計)」の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%にする。
- ・小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉の違いを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に答える児童の割合を83%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を全学年で83%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和8年度末の校内児童アンケートにおける「授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使いましたか。」の項目について、「週3回以上」と答える児童の割合を70%以上にする。
- ・時間外勤務時間状況における「貴校の平均時間(累計)」の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月24時間以下とする。

## 大阪市立南大江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉の違いを大切に、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができているか。」に対して、肯定的に答える児童の割合を83%以上にする。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>月に一回相談の日を設け、その日には困りごとや不安を相談できる取り組みを各学級で行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度末の校内児童アンケートの「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」の項目について、肯定的に答える児童を75%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <p>芸術鑑賞など学校行事の内容を再検討し、いろいろな国の良さや違いを知ることができるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度末の校内児童アンケートの「いろいろな国や地域の文化や言葉の良さや違いを知り、つながりを大切にしていますか。」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、83%以上にする。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

## 大阪市立南大江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を全学年で83%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業の中でペア・グループなどの交流活動を通して、自分の考えを友だちに伝える場を設定し、自分の考えを積極的に発表できるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内アンケート「自分の考えを友だちに伝えることができましたか。また、友だちと意見を交流することができましたか。」で肯定的な回答をする児童の割合を全学年で83%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科の授業や委員会などの様々な活動を通して、体を動かすことの楽しさをより実感できるよう工夫する。また、休み時間に運動場や講堂などが使えるときは、積極的に体を動かせるように遊びを提案するなどの取り組みを行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内アンケート「体を動かすことは好きですか。」で肯定的な回答をする児童の割合を86%以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立南大江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b> ・令和8年度末の校内児童アンケートにおける「授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使いましたか。」の項目について、「週3回以上」と答える児童の割合を70%以上にする。 ・令和8年度末の時間外勤務時間状況における「貴校の平均時間(累計)」の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月24時間以下とする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</b> 学年や発達段階に応じて端末を効果的に活用し、児童が一人一台端末を日常的に使用する学習ツールとして主体的に活用できるように指導を行う。 ----- <b>指標</b> ・校内児童アンケートにおける「授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使いましたか。」の項目について「週3回以上」と答える児童の割合を70%以上にする。	
<b>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> 教員の働き方改革の一環として、月に2回のノー残業デーを計画的に設定し、可能な限りの早期退勤を促進する。また学年を単位とした協働的な体制を整えることで業務を組織的に分担・共有する。 ----- <b>指標</b> ・時間外勤務時間状況における「貴校の平均時間(累計)」を月平均24時間以下にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	